

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-152

(P2002-152A)

(43) 公開日 平成14年1月8日(2002.1.8)

(51) Int.Cl.⁷

A 0 1 K 97/24

識別記号

F I

A 0 1 K 97/24

テ-リ-ト*(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-221499(P2000-221499)

(22) 出願日 平成12年6月16日(2000.6.16)

(71) 出願人 500342204

宇山 晃二

愛知県名古屋市天白区原二丁目3203番地

(72) 発明者 宇山 晃二

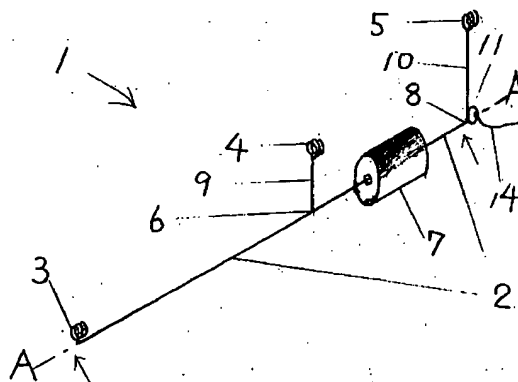
名古屋市天白区原二丁目3203番地

(54) 【発明の名称】 根がかり解除回収装置

(57) 【要約】

【課題】根がかりを引張って解除することなく押すことによりはずして解除することにある。

【解決手段】棒状部材2に左右自在に動くことが出来る中通しおもり7が取り付けられており、棒状部材2の先端には道糸係止部3が、立設部材9の先端には道糸係止部4が、立設部材の先端には道糸係止部5がそれぞれ設けられている。又、立設部8の側にはリング11が設けられ、ひも14が結びつけられるようになっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】棒状部材に左右自在に動くことのできる中通しおもりを取り付けた根がかり解除回収装置

【請求項2】リング状係止部3の中に釣り針やルアー等の一部が入るように形成され、押してははずす事の特徴とする請求項1の根がかり解除装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、魚釣りにおいて、釣り針やルアー等の根がかり解除回収装置に関する。 10

【0002】

【従来の技術】従来、根がかりした場合、釣り糸を引っ張って回収していた。回収装置を使用したとしても、釣り針等を引っ張って取る構造となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】引っ張って取る方法では、釣り針が折れたり釣り糸が切れてしまう事が多く、水中にゴミとして蓄積されるため環境にも悪影響を与えている。

【0004】そこで、本出願人は根がかりした釣り針等を断続して強く押してははず解除回収装置を提供する事にある。 20

【課題を解決するための手段】

【0005】上記の課題を解決する為に、この発明においては棒状部材に左右自在に動くことのできる中通しおもりを取りつけ、強く引いたりゆるめたりする事により、中通しおもりが激しく動き、その衝撃が根がかりした部分に向かって断続して押す事を採用したものである。

【発明の実施の形態】

【0006】以下、添付図面に基づいて本発明に係る根がかり解除装置の実施例を詳細に説明する。図1に示すように、根がかり解除回収装置1は、立設部6と立設部8の間にある棒状部材2に中通しおもり7が通されており、棒状部材2の先端にはリング状道糸係止部3が、立設部材9の先端には、道糸係止部4が、立設部材10の先端には道糸係止部5が、それぞれ設けられている。

【0007】立設部8の側に設けられたリング11にひも14を結びつけた後、リング状道糸係止部3、道糸係止部4、道糸係止部5に釣り糸を通し、本体を水中に送り込む。 40

【0008】本体のリング状道糸係止部3が根がかりした釣り針等に到達した後、ひも14を強く引いたりゆるめたりを繰り返すと中通しおもり7が取付部6と取付部8の間を左右交互に激しく動き、立設部6と立設部8にあたる。

【0009】その衝撃がリング状道糸係止部3に接する釣り針等に伝わり、図3の状態から図4に移行するよう断続的に繰り返され図4に示すように押された状態で根がかりが解除される。

【0010】リング状道糸係止部3の中に図3の釣り針や図5のルアーの一部が入り、本体側から断続的に押されて根がかりが解除される。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように、釣り糸に本体の道糸係止部を取りつけ、水中に送り込んだ後、ひもを断続的に引く事で、根がかりを押してははず事が出来、操作が簡単である。

【0012】又、水中に折れたり切れたりした釣り具の一部が残らない為、環境に良い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る根がかり解除回収装置の斜視図

【図2】上記図1のA-A線断面図

【図3】上記図1を根がかりした釣り針に送り込む途中の要部拡大図

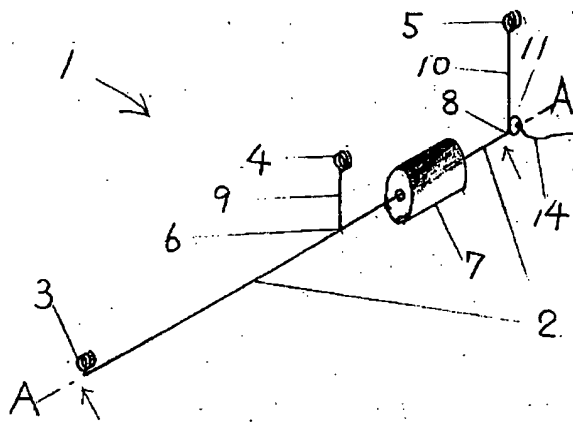
【図4】上記図1を根がかりした釣り針に作用させ解除した時の要部拡大図

【図5】上記図1を根がかりしたルアー等に作用させ解除した時の要部拡大図

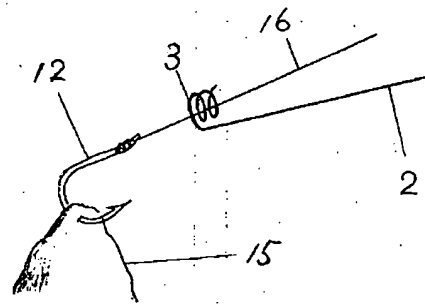
【符号の説明】

1. 根がかり解除回収装置	9. 立設部材
2. 棒状部材	10. 立設部材
3. リング状道糸係止部	11. リング
4. 道糸係止部	12. 釣り針
5. 道糸係止部	13. ルアー
6. 立設部材	14. ひも
7. 中通しおもり	15. 障害物
8. 立設部	16. 釣り糸

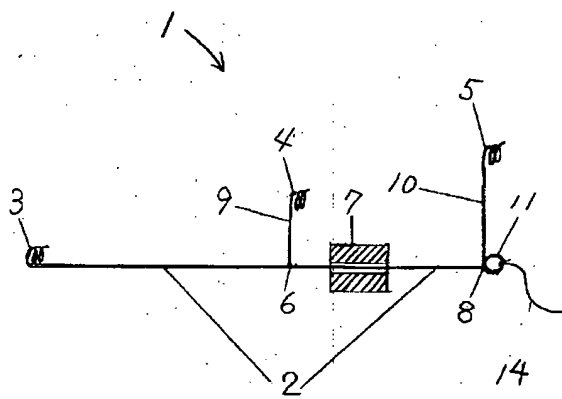
【図1】



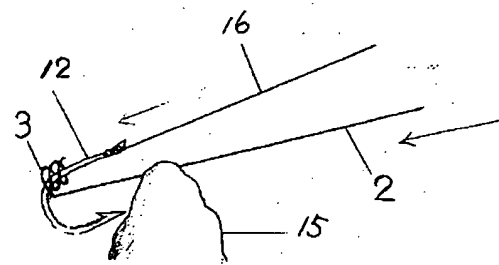
【図3】



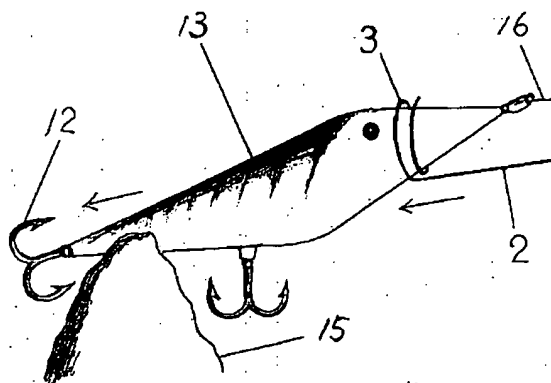
【図2】



【図4】



【図5】



PAT-NO: JP02002000152A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002000152 A
TITLE: SNAG RELEASING AND RECOVERING APPARATUS
PUBN-DATE: January 8, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
UYAMA, KOJI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
UYAMA KOJI	N/A

APPL-NO: JP2000221499

APPL-DATE: June 16, 2000

INT-CL (IPC): **A01K097/24**

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To release snag by a pushing action in stead of a pulling action.

SOLUTION: A laterally movable drilled weight 7 is attached to a rod member 2, a main line engaging part 3 is attached to the tip end of the rod member 2, a line engaging part 4 is attached to the tip end of a standing member 9 and a line engaging part 5 is attached to the tip end of the standing member. A ring 11 is placed at the side of the standing part 8 and a string 14 is tied to the ring.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO